



生活クラブ風車



夢風News

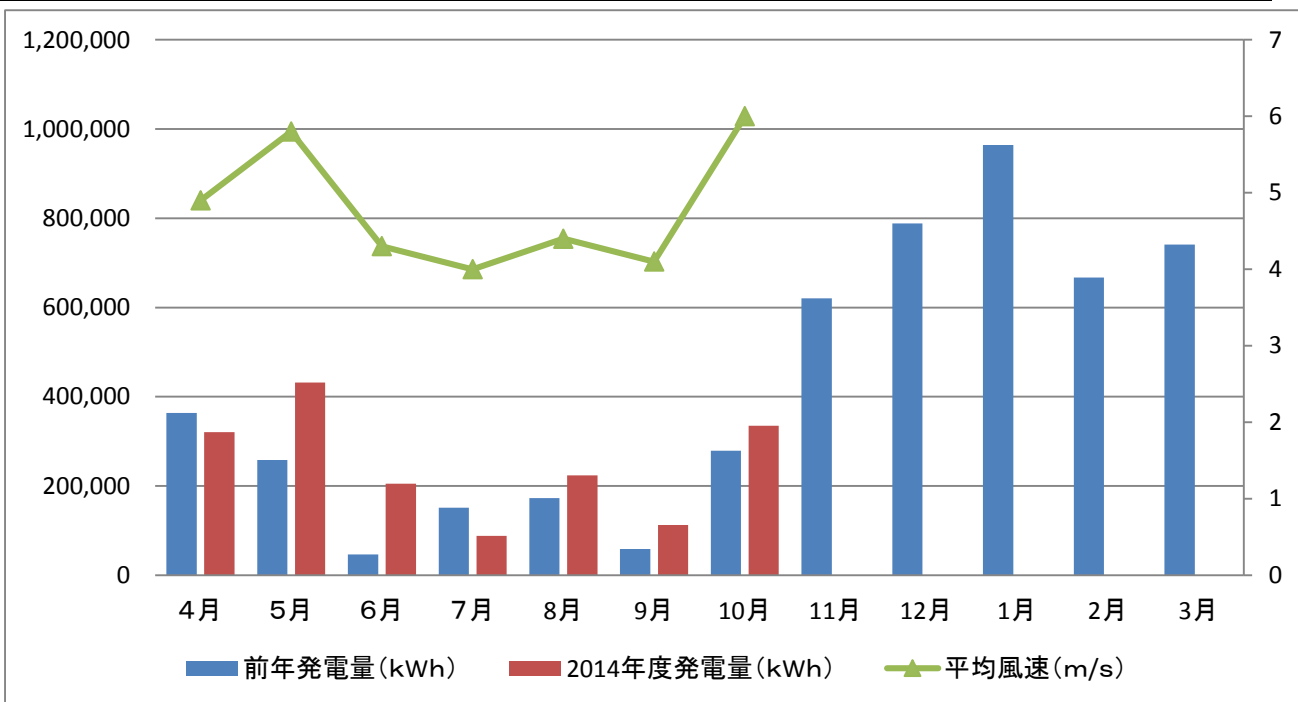
Vol.29

●発行 2014. 11. 15 一般社団法人グリーンファンド秋田

●発行責任者 半澤彰浩（代表理事） ●編集責任者 鈴木伸予

■ 2014年度 発電実績 ■

	発電量 (kWh) 【前年比】	平均風速 (m/s)	設備利用 率 (%)		発電量 (kWh) 【前年比】	平均風 速 (m/s)	設備利用 率 (%)
4月	320,524 【88.0%】	4.9	22.4	10月	335,268 【120.2%】	6.0	22.6
5月	431,507 【167.3%】	5.8	29.1				
6月	201,904 【440.5%】	4.3	14.3				
7月	87,899 【58.0%】	4.0	5.9				
8月	223,914 【129.3%】	4.4	15.1				
9月	112,694 【191.3%】	4.1	7.9				



- 10月15日、昨年より1日遅く鳥海山の初冠雪が確認され、山頂から8合目付近までうっすらと雪化粧しています。10月14日の夜に台風19号の影響で寒気が流れ込んだことによるもので、14日は風車に設置されている風速計によると平均風速15m/sを超えていました。
- 今月も不具合による停止はなく、順調に稼働しましたが、先月に引き続き東北電力要請による解列で6日間、風車を停止したため、稼働率は低くなっています。

■グリーンファンド秋田理事会報告

11月3日16:00より、2014年度第2回理事会を開催しました。

第2四半期（7～9月）の決算報告を承認しました。7～9月の売電量は39万1,509kWhで、売電売上は計画比75.1%、前年比110.3%でした。上半期では、売電量129万5,792kWhで、売電売上は計画比95.2%、前年比131.3%の実績となっています。

また、(株)生活クラブエナジーとの業務委託契約締結、夢風の電力受給契約の切り替えのすすめ方、などを承認しました。その他、組合員リーダーツアー決算報告、千葉デポーにかほフェアと交流視察ツアー報告、普及啓発費の執行状況報告、生活クラブ東京と埼玉でのにかほの物産取組企画報告、などを確認しました。

■生活クラブ首都圏4単協自然エネルギー推進PJで学習会を開催しました



10月9日、生活クラブ東京・生活クラブ館で、認定NPO法人環境エネルギー政策研究所の松原弘直主席研究員を講師に学習会を開催しました。

テーマは、再生可能エネルギー事業を取り巻く最新状況として、農山漁村再エネ法とソーラーシェアリング制度、電力システム改革の制度設計検討状況から最近の系統接続保留問題まで幅広くお話頂きました。質疑応答では、ソーラーシェアリングの生物多様性への影響はないかとの質問に対し、この規模では自然環境への影響はないとの事です。また、送電網のことは難しいが、ドイツの様に発送電分離がすすめば良いと思うとの感想が寄せられました。

電力システム改革はそもそも3.11の反省を経て、日本の電力供給の有り方を変えようとスタートしたものです。専門用語も多く馴染みがないのでわかりづらいのですが、専門家にお任せにせず、市民がしっかりと学習していくことが大事だと感じました。

■生活クラブ埼玉 エネルギースタディーツアーPart2(東北編)開催報告

10月19日、20日に、埼玉組合員9名が参加、2日間で山形県遊佐町・秋田県にかほ市・宮城県東松島市を回る急ぎ足の日程でしたが、自然エネルギーの共同事業とその現場をより深く学ぶことができたツアーでした。

～生活クラブ風車 夢風～

19日、遊佐町から生活クラブ風車「夢風」を見るために、秋田県にかほ市へ。(株)市民風力発電所の高橋誠治氏と原田美菜子氏に、発電から送電までの仕組みや、雷などの緊急時の対応についての説明を受け、風車内部のメンテナンス用エレベーターや制御盤を見学させて頂きました。夢風の支柱部分の外装

には、電力供給のスキーム図やカンパをした団体名、全国の市民風車の所在地などが書かれていました。「建設やメンテナンスの苦勞を感じた」や「自分たちの風車ということに感動した」「風車の電力を活用し、つながっていくために頑張りたい」など、実際に夢風を見た組合員の思いは様々でした。風が弱く風車は回っていませんでしたが、この日は夢風のある場所のすぐそばに宿泊したので、翌日の朝に悠然と回っている夢風を見ることができました。

～ディスカバリーセンター～

10月20日は日本列島を横断するようににかほ市から宮城県東松島市へ。高橋徳治商店新工場を視察後、ディスカバリーセンターに到着。ディスカバリーセンターには日本で1台しかない科学地球儀 SOS (featuring Science On a Sphere) があります。担当の阿部佑子氏から説明を受け、実際に見学。衛星から送られてきたデータをもとにリアルタイムの気候の様子、過去・未来の地球のシュミレーション(100年後の温暖化の状況など)を巨大な地球儀で見ることができます。中でも福島第一原発事故後の放射能の拡散状況は強烈なインパクトを残すものでした。未来に向け、自然エネルギー発電やエネルギーの共同購入と自治は私たちの世代の大きな課題であると改めて実感したスタディーツアーでした。



<清水泉理事長(右)と森田緑理事(左)>



生活クラブ埼玉 組織部 宮崎 悠

■ デポーにかほフェア&視察交流ツアー報告

生活クラブ千葉では、にかほ市との地域間交流の一環として、10/30~11/1の3日間、にかほ市の生産者や市の職員など8名の方をお迎えし、「デポーにかほフェア」を実施しました。



Aグループ:三浦米太郎商店三浦悦朗さん、でんべいかれい生産グループ渡辺郁子さん、芹田営農組合長遠藤豊さん、道の駅ねむの丘佐々木勝美さん



Bグループ:にかほ市企画課長齊藤義行さん、伊藤製麺所伊藤実さん、芹田自治会長荒川定敏さん、四つ葉ネットワーク加藤京子さん

5つのデポで、にかほ市の皆さんが特産品の販売アピールをしながら、組合員に、にかほ市の良さや特産品の特徴などを伝えてくださり、各デポが賑わいました。さらに、デポ浦安には、修学旅行中のかほ市の中学生が親善大使として来訪し、交流の輪が広がりました。特産品はどれもとても美味しかったので、「定番品にしてほしい」という組合員の意見もたくさん寄せられました。



<生活クラブ千葉の理事会の皆さんと>

また、10/31「生活クラブグループに関する学習交流会」、「生活クラブいなげビレッジ虹と風、JFSA 千葉センター」の見学、11/1「生活クラブソーラー市原発電所オープニングイベント」にもご参加いただき、生活クラブの活動が、食だけでなく、環境や福祉など、多岐にわたることをご紹介させて頂きました。短い期間でしたが、とても楽しい交流ができました。

生活クラブ千葉 理事 榎原樹子



<生活クラブいなげビレッジ虹と風>



<生活クラブソーラー市原発電所オープニングイベント>



**@秋田県にかほ市ジュニア観光大使も登場！
デポにかほフェアをアピール！@**

象潟（きさかた）中学校2年生の5名の生徒の方と先生が、修学旅行の課外活動として、浦安デポのかほフェアに参加しました。ジュニア観光大使のタスキを胸に、にかほフェアのチラシをデポの前で地域の方に配布してアピールしていただきました。